

ユニバーサルデザインについて

**問** 障害者や高齢者が安心できる公共施設の見直し、点検と、市役所西側出入口のスロープ設置の考えは

**答** 市役所西側出入口は利用者の利便性や、構造物の支障とならないよう設計を進めています。1月頃、工事発注できる見込みです。他の施設も点検や見直しを行い、できる所から改修、改善に努めていきたいと思っています。

キャップ  
CAPプログラムについて

(C)子供 (A)突然襲う (P)防止の意

**問** 子供への暴力防止や、人権教育を目的とするCAPプログラムを導入する考えは。全国で下校時の事件が相次いでいるが、通学路の点検は

**答** 児童虐待や親の育児困難等の問題については、各関係機関と連携し、子供を守る支援を行っているが、子供が自身を守っている指導致しています。今後その指導の一つとして、CAPプログラムを利用していくことも効果的だと考えています。本年度東小3年生の家庭教育学級で講師を招き勉強会を行っているが、教育委員会として、今後前向きに検討してまいります。

市内の保育園、幼稚園、小学校で、登下校時や学校外での子供達への指導を行い、安全意識の高揚を図っています。下校時の告知放送を行い、サポート隊や地域の協力を得て子供の安全を守る対策を行っています。



検討会の経過説明について

**問** 福祉タクシー利用料金割引乗車券と、福祉循環バスの運行について検討委員会の説明を

**答** 民間の各種団体や地域の代表者13名の方々に委員をお願いし年間4回の予定で方向づけをお願いしています。6月28日、9月8日に現状把握と事前知識の研修をし、11月24日に意見交換を行いました。福祉タクシー補助券は今後も必要性を認めるが、利用しやすい制度への見直しと、真に必要な対象者に限定すべきというご意見をいただいています。1月下旬予定の委員会でまとめたいと思います。

**問** 各地区の活動の拠点となっている公民館の活動の充実と防災拠点の機能を高める為に、市の職員の派遣を検討す

る公民館のあり方検討会の経過説明を

**答** 本年5月に庁内に検討委員会を立ち上げ、新市の公民館としてどのような姿が望ましいか検討をすすめております。幹事会を含め8回の検討会、現地視察を行い、10月に中間報告を受けました。課題として各公民館への職員配置をして、地区の実情を踏まえた事業の実施をする旨の提案がされております。18年度を準備期間とし、19年度から順次実施することとしております。

**問** 住宅の倒壊災害から命を守る防災ベッドが開発されました。購入助成は

**答** 寝たきりの要援護者にとつては大変有効であると思われるので検討してまいりたいと思います。